

(山野議員、大瀬戸議員)

Q 広電バスのダイヤ改正、運行状況等について。

A 路線の存続に向けた実務者協議を行っている。

(平本町長、橋本副町長)



なお、ダイヤ改正に伴い、利用状況の把握や利用者の声を運行サービスに活かすよう広電に要請を行っている。

阿戸線の存続に向け、熊野町、広電及び広島市の三者による実務者協議を行っており、阿戸線は現状どおり広電が運行主体となることや、路線存続のための広電への支援には一定の歯止めを設けることなどを確認している。

広電バスのダイヤ改正や阿戸線廃止に関する問題について様々な意見を聞く。阿戸線廃止に関する問題については、広電と協議を重ねていると聞いているが、その経緯や交渉の結果はどうなったか。

(山野、大瀬戸議員)

芸陽バスから、路線延長しないという明確な意思表示をいただいている。補助金については、広電、広島市、そして県を含め、額の検討を行っている段階である。

芸陽バスによる路線延長を要請してどうか。また、路線の存続にかかる補助金の公表はできないか。

(大瀬戸議員)

この問題については、適宜報告させていただくので、その必要性があれば、改めて指摘をいただきたい。

この問題について、今後検討委員会等を作るつもりはないか。

(山野議員)

(白築議員)

Q 循環バスの導入を。

A 既存バス路線の維持が最優先であり、導入の予定はない。

(平町総務部長)



近隣の市町では、町内循環バスを走らせ、交通手段を持たないお年寄りや子ども達に大いに歓迎されている。熊野町で運行する考えはないか。

平成15年に循環バスの導入を検討したが、町内道路の狭さから断念した経緯がある。現在の方針としては、循環バスが既存バス事業者の経営を圧迫することから、唯一の公共交通機関である既存バス路線の維持を最優先課題として取り組むこととしており、循環バスを導入する予定はない。

